

## 市民提案型ごみ減量活動等補助金審査表（地域内ごみ減量等活動用）

提案事業番号：   6  

### 【審査表】

評価項目	配点	評価の観点	得点区分	得点
事業の実現性 （実施主体）	10	これまでの活動実績、事業の実施体制など、実施主体の面から事業の実現性を3段階で評価します。	10点：優れている 6点：普通 2点：不足	
事業の実現性 （事業手法）	10	事業の実施に際しての課題の有無、課題に対する解決策の有無など、事業手法の面から事業の実現性を3段階で評価します。	10点：優れている 6点：普通 2点：不足	
事業の継続性 （実施体制）	10	多様な主体の参画（世代間、企業、学校）、実施主体の事務局体制など、実施体制の面から事業の継続性を3段階で評価します。	10点：優れている 6点：普通 2点：不足	
事業の継続性 （活動経費）	10	経常経費（ランニングコスト）、自主財源、受益者負担など、財政的な面から事業の継続性を3段階で評価します。	10点：優れている 6点：普通 2点：不足	
減量等の効果	20	具体的なごみ減量等の効果、効果の発現時期と持続性、定量化が困難な啓発効果など、ごみ減量等の効果から事業を5段階で評価します。	20点：優れている 16点：良い 12点：普通 8点：やや不足 4点：不足	
住民の主体性	20	地域住民の主体性、実施主体の構成員以外の住民参加、将来的な住民参加の見込など、地域住民と事業とのかかわりを5段階で評価します。	20点：優れている 16点：良い 12点：普通 8点：やや不足 4点：不足	
審査員の総合評価	20	委員独自の視点（地域コミュニティへの影響、他地域への波及効果、実施主体の熱意 など）を交え、提案事業を5段階（20点、16点、12点、8点、4点）で評価してください。	20点：優れている 16点：良い 12点：普通 8点：やや不足 4点：不足	
<b>合計得点</b>	<b>100</b>			

※「得点の事例」はあくまで一例であり、各評価項目について各部会員の基準や価値観で評価してください。ただし、すべての提案事業について、ある程度統一された基準や価値観で評価するように心がけてください。